

## 平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年7月15日

上場会社名 株式会社 ティーツー

上場取引所 JQ

コード番号 7610 URL <http://www.tay2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CCO (氏名) 大橋 康宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 片山 靖浩

TEL 03-5408-5532

四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	9,372	—	360	—	348	—	163	—
21年2月期第1四半期	10,035	△11.2	365	△22.0	347	△24.3	151	△38.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	326.42	—
21年2月期第1四半期	300.89	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	11,812	4,804	4,804	39.2	9,234.04	
21年2月期	11,326	4,702	4,702	40.0	9,034.67	

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 4,633百万円 21年2月期 4,533百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	130.00	—	130.00	260.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	130.00	—	130.00	260.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	19,400	△1.8	510	5.4	470	2.2	200	118.0	398.55
通期	41,600	0.0	950	6.1	880	4.1	400	189.6	782.34

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第1四半期 551,400株 21年2月期 551,400株

② 期末自己株式数 22年2月期第1四半期 49,577株 21年2月期 49,577株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第1四半期 501,823株 21年2月期第1四半期 505,011株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気全般に関する底入れの兆しはみられるものの、景気の低迷は今しばらく続くとみられます。当社グループの属する小売サービス業につきましても、個人所得の減少により消費の低迷は続いております。

こうした経営環境の下、当第1四半期連結会計期間の売上高は9億3千72百万円、営業利益は3億6千万円、経常利益は3億4千8百万円、四半期純利益は1億6千3百万円となりました。

#### 【古本市場事業の概況】

古本市場事業においては、一部の店舗において大規模な店舗改装を行うなど店舗競争力の強化に努めるとともに、新規商材の取扱い店舗の拡大を行うなどにより、売上拡大を図ってまいりました。また、古本市場店舗向けの新しいPOSシステムを全店舗に導入し、店舗オペレーションの効率化を図るとともに、店舗の賃料減額交渉を進め、一定の成果を収めることができました。

しかし、リサイクル品の売上は比較的に堅調だったものの、新品ゲームにおいて業界を牽引するような要因が現れないなど、単価が高い新品商材の販売は苦戦を強いられたまま、当第1四半期連結会計期間における古本市場事業の売上高は8億5千73百万円、営業利益は5億8千7百万円となりました。なお、古本市場1店舗の閉店により特別損失3千9百万円を計上いたしました。

#### 【アイ・カフェ事業の概況】

アイ・カフェ事業においては、ドリンク・フード類を充実させるなど顧客サービスの強化に取り組むと同時に、割引クーポンを配布するなど販促活動に注力いたしました。個人消費の低迷の影響で顧客数の維持が難しい状況が続いていることにより、当第1四半期連結会計期間におけるアイ・カフェ事業の売上高は6億8千9百万円となりました。一方で利益の面では業務効率化により人件費等のコントロールに努め、営業利益6百万円と黒字確保ができました。

#### 【EC事業の概況】

EC事業においては、テーマ別リサイクル品販売をはじめとする各種販売活動の実施などにより、売上拡大を図ってまいりました。しかしながら、昨今の消費環境の悪化の影響等により、当第1四半期連結会計期間におけるEC事業の売上高は1億2千3百万円、営業損失は3百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主にリース取引に関する会計基準の早期適用に伴いリース資産を計上したことから、前連結会計年度末と比べて4億8千6百万円増加し、11億1千2百万円となりました。負債は、主に買掛金、未払金が減少した一方で、短期借入金の増加及びリース取引に関する会計基準の早期適用によるリース債務を計上したことにより、前連結会計年度末と比べて3億8千4百万円増加し、70億8百万円となりました。純資産は、配当金の支払があった一方で、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べて1億1百万円増加し、4億8千4百万円となり、自己資本比率は、39.2%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して1億7千万円減少し、11億3千7百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、8千1百万円の収入となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益3億3百万円、減価償却費1億5千9百万円、たな卸資産の減少1億9百万円、確定法人税等の納税額の減少等であり、主な支出要因は、売上債権の増加1億3百万円、前払費用の増加1億9千3百万円、仕入債務の減少1億3千5百万円、未払金の減少1億4千2百万円、賞与引当金の減少1億8百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1億4千6百万円の支出となりました。主な要因は無形固定資産の取得による支出7千5百万円、有形固定資産の取得による支出5千4百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1億5百万円の支出となりました。主な要因は、短期借入金の純増加2億6千万円、長期借入金の返済2億7千7百万円、配当金の支払5千3百万円等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益は概ね計画通りに推移いたしました。従いまして平成22年2月期の連結売上高は、416億円（前期比0.0%増）、連結営業利益は9億5千万円（前期比6.1%増）連結経常利益は8億8千万円（前年同期比4.1%増）、連結当期純利益は4億円（前年同期比189.6%増）を見込んでおり、平成21年4月20日付当社「平成21年2月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の実績等は業況の変化等により、上記予測と異なる場合があります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

##### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税調等整額は、法人税等を含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

##### ③ 「リース取引に関する会計基準」の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理に変更しております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、前連結会計年度末における未経過リース料残高を取得価額とし、期首に取得したものととしてリース資産に計上する方法によっております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,220,508	1,391,349
売掛金	430,454	327,416
商品	3,748,441	3,857,171
その他	666,551	498,657
貸倒引当金	△1,840	△2,355
流動資産合計	6,064,115	6,072,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,423,501	1,492,900
その他(純額)	1,135,238	532,597
有形固定資産合計	2,558,739	2,025,498
無形固定資産		
のれん	33,154	40,309
その他	283,700	295,127
無形固定資産合計	316,855	335,436
投資その他の資産		
差入保証金	1,629,866	1,637,204
その他	1,256,850	1,269,803
貸倒引当金	△14,055	△13,929
投資その他の資産合計	2,872,662	2,893,079
固定資産合計	5,748,257	5,254,014
資産合計	11,812,373	11,326,253
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	998,514	1,134,445
短期借入金	950,000	690,000
1年内返済予定の長期借入金	970,043	972,356
未払法人税等	157,395	57,071
賞与引当金	—	108,641
ポイント引当金	270,223	275,604
その他	995,536	857,101
流動負債合計	4,341,713	4,095,220
固定負債		
長期借入金	1,781,841	2,057,365
退職給付引当金	167,695	160,603
役員退職慰労引当金	162,750	173,599
その他	554,053	136,904
固定負債合計	2,666,341	2,528,472
負債合計	7,008,054	6,623,692

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,507	1,165,507
資本剰余金	1,119,796	1,119,796
利益剰余金	2,719,860	2,621,292
自己株式	△372,069	△372,069
株主資本合計	4,633,095	4,534,526
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△84	△1,564
為替換算調整勘定	843	843
評価・換算差額等合計	758	△721
新株予約権	24,394	20,820
少数株主持分	146,071	147,936
純資産合計	4,804,319	4,702,561
負債純資産合計	11,812,373	11,326,253

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)
売上高	9,372,236
売上原価	6,721,265
売上総利益	2,650,970
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	57,247
パート・アルバイト給与	294,910
従業員給料及び賞与	446,317
役員退職慰労引当金繰入額	3,192
退職給付費用	7,740
賃借料	498,466
減価償却費	131,196
その他	851,785
販売費及び一般管理費合計	2,290,857
営業利益	360,113
営業外収益	
受取利息	1,365
受取賃貸料	25,185
その他	8,661
営業外収益合計	35,212
営業外費用	
支払利息	16,391
不動産賃貸費用	30,930
営業外費用合計	47,321
経常利益	348,004
特別利益	
貸倒引当金戻入額	272
保険解約返戻金	603
特別利益合計	876
特別損失	
固定資産除却損	6,293
減損損失	23,812
リース債務解約損	201
店舗閉鎖賃借契約解約損	15,200
特別損失合計	45,507
税金等調整前四半期純利益	303,373
法人税等	141,432
少数株主損失(△)	△1,865
四半期純利益	163,805

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成21年3月1日  
 至 平成21年5月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	303,373
減価償却費	159,836
減損損失	23,812
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△5,381
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△108,641
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,091
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,848
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△388
受取利息及び受取配当金	△1,365
支払利息	16,391
持分法による投資損益 (△は益)	△1,487
長期貸付金の家賃相殺額	14,982
固定資産除却損	6,293
売上債権の増減額 (△は増加)	△103,164
たな卸資産の増減額 (△は増加)	109,596
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△169,385
仕入債務の増減額 (△は減少)	△135,930
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,951
その他	27,487
小計	130,320
利息及び配当金の受取額	127
利息の支払額	△16,904
法人税等の支払額	△32,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,073
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△54,004
無形固定資産の取得による支出	△75,869
差入保証金の差入による支出	△4,418
差入保証金の回収による収入	3,112
その他	△15,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,311
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	260,000
長期借入金の返済による支出	△277,837
配当金の支払額	△53,743
リース債務の返済による支出	△34,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,602
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,841
現金及び現金同等物の期首残高	1,308,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,137,182

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）

	古本市場事業 (千円)	アイ・カフェ事業 (千円)	EC事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,571,783	689,429	111,022	9,372,236	—	9,372,236
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,422	21	12,906	14,349	△14,349	—
計	8,573,205	689,450	123,929	9,386,585	△14,349	9,372,236
営業利益 (△は営業損失)	587,394	6,690	△3,535	590,549	△230,436	360,113

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売形態の種類を勘案して区分しております。

2. 各事業の内容

- (1) 古本市場事業……………店頭でのリサイクル品の買取・販売及び新品の販売、その他雑貨の販売及びリサイクル品の卸売り
- (2) アイ・カフェ事業……飲食店・喫茶店の経営及びインターネットを利用した情報提供サービス並びにインターネット施設向けシステム販売及び加盟店運営サポート
- (3) EC事業……………インターネットによるリサイクル品の買取・販売及び新品の販売

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）において、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間

科 目	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
	金 額 (千円)
売 上 高	10,035,319
売 上 原 価	7,351,747
売 上 総 利 益	2,683,571
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,318,398
営 業 利 益	365,173
営 業 外 収 益	30,717
営 業 外 費 用	48,437
経 常 利 益	347,453
特 別 利 益	8,439
税 金 等 調 整 前 第 1 四 半 期 純 利 益	355,892
税 金 費 用	152,165
少 数 株 主 利 益 又 は 損 失 ( △ )	51,774
第 1 四 半 期 純 利 益	151,952

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
前第1四半期連結累計期間

	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
区 分	金 額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期純利益	355,892
減価償却費	128,460
賞与引当金の減少額	△104,101
ポイント値引引当金の減少額	△1,338
退職給付引当金の増加額	4,908
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△29,434
貸倒引当金の増減額(減少:△)	109
受取利息及び受取配当金	△1,419
支払利息	13,816
持分法による投資損失	2,538
長期貸付金の家賃相殺額	16,364
売上債権の増減額(増加:△)	△71,400
たな卸資産の増減額(増加:△)	△72,360
その他流動資産の増減額(増加:△)	△81,672
仕入債務の減少額	△259,557
その他流動負債の増減額(減少:△)	△162,195
その他	6,727
小 計	△254,663
利息及び配当金の受取額	221
利息の支払額	△13,816
法人税等の支払額	△521,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	△789,531

	当四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
区 分	金 額 (千円)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△95,263
無形固定資産の取得による支出	△30,826
差入保証金の払込による支出	△3,809
差入保証金の返還による収入	5,446
投資有価証券の取得による支出	△36,506
子会社株式取得に伴う支出	△4,200
短期貸付金の貸付けによる支出	△150
長期貸付金の貸付けによる支出	△26,550
長期貸付金の回収による収入	10
その他の	△1,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（純減少額：△）	800,000
長期借入れによる収入	800,000
長期借入金の返済による支出	△200,169
親会社による配当金の支払額	△50,332
自己株式取得による支出	△8,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,341,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	358,405
現金及び現金同等物の期首残高	1,054,606
現金及び現金同等物の第1四半期期末残高	1,413,011

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（平成20年3月1日～5月31日）

	古本市場 事業（千円）	アイ・カフェ 事業（千円）	EC事業 （千円）	計 （千円）	消去又は 全社（千円）	連結 （千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,101,334	822,216	111,769	10,035,319	—	10,035,319
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,411	—	23,277	24,689	△24,689	—
計	9,102,745	822,216	135,046	10,060,008	△24,689	10,035,319
営業費用	8,502,796	807,046	126,704	9,436,548	233,598	9,670,146
営業利益 (△は営業損失)	599,949	15,169	8,341	623,460	△258,287	365,173

6. その他の情報

該当事項はありません。